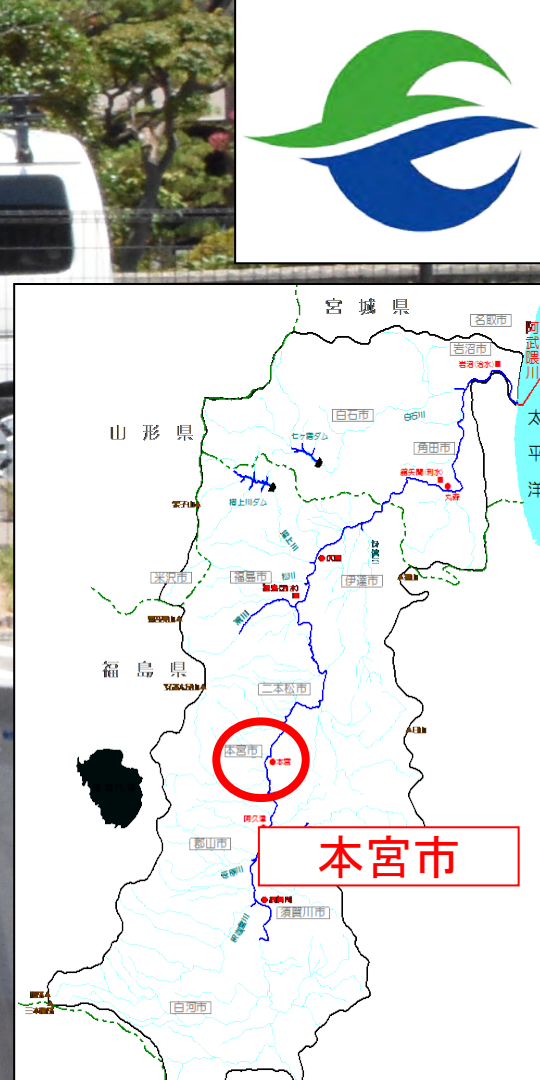


S61.8 洪水から30年
～逃がす・防ぐ・取り戻す～



～水害の教訓を後世に語り継ぐ～

本宮市えぽか

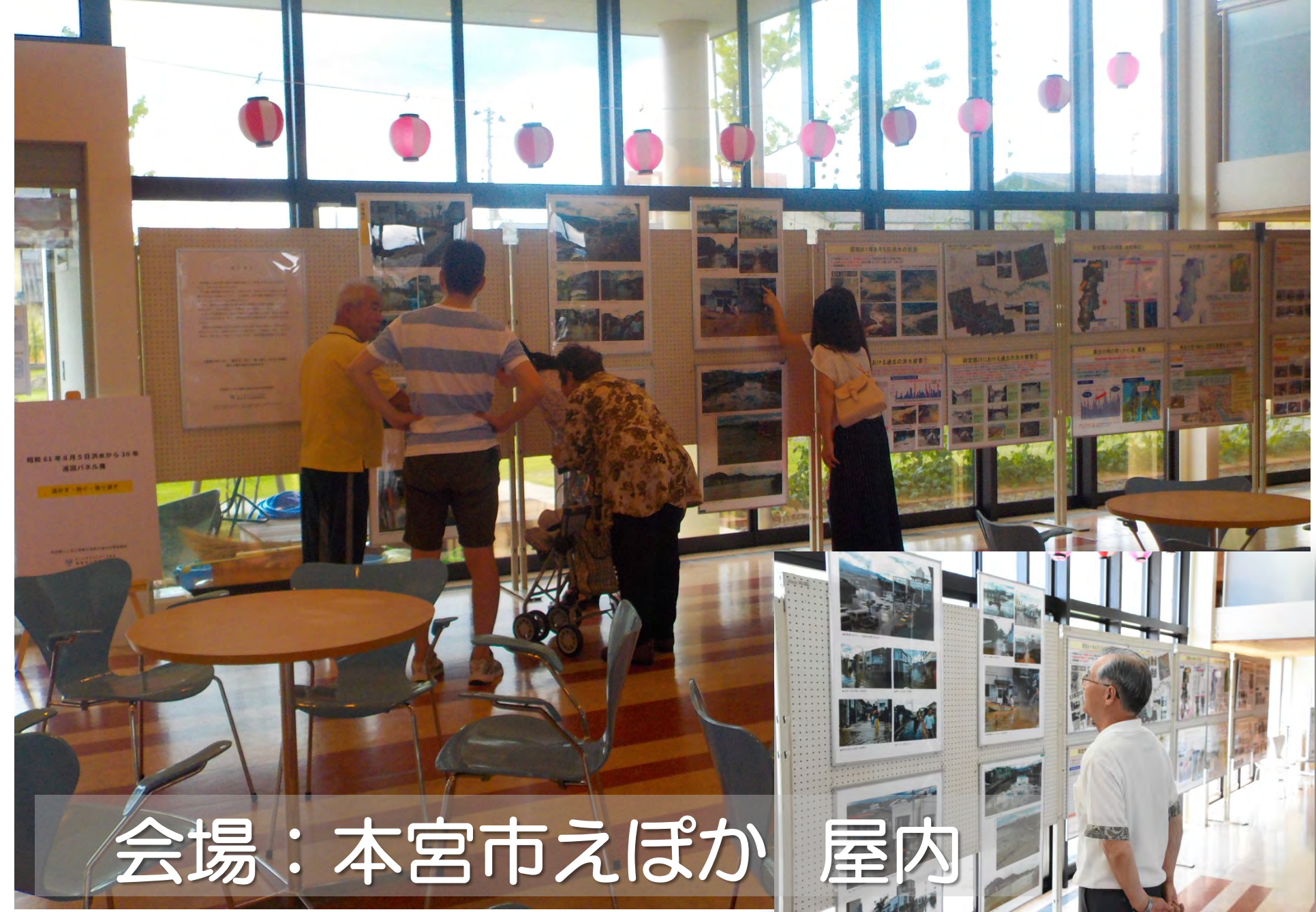
昭和61年8月5日洪水から30年の取組として 巡回パネル展・災害対策車両の展示を開催しました

巡回パネル展とは

・7/7～9/30にかけ、直轄沿川全10市町村、福島県庁、福島駅、商業施設等の14箇所で実施しました。

- ・阿武隈川上流全域で甚大な被害を被った「昭和61年8月5日洪水」から平成28年で30年。
- ・過去の洪水を風化させず、後世に語り継ぐこと、地域住民の防災意識の向上を目的とした取組を実施。

◆パネル展示（平成28年7/22～8/9）



会場：本宮市えぽか 屋内

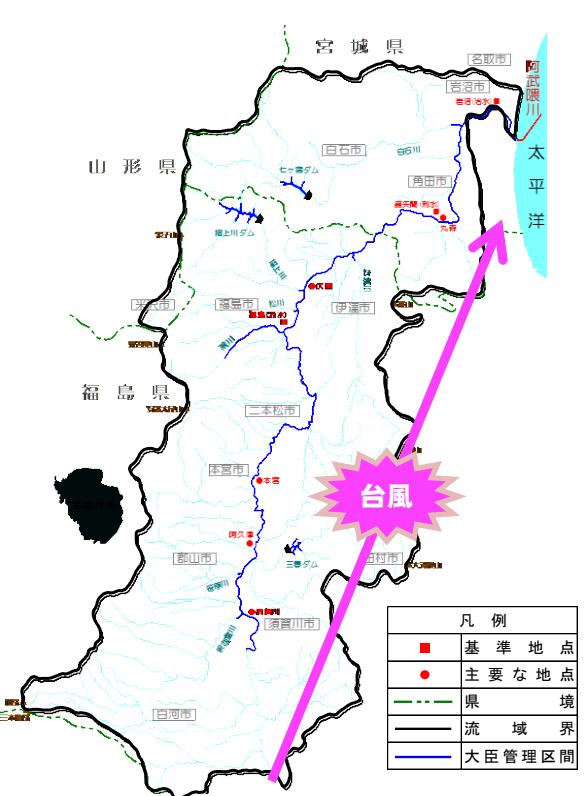
◆国交省の災害対策車両展示（平成28年8月5日）



会場：本宮市えぽか 屋外

昭和61年8月 阿武隈川での豪雨災害

- 福島で24時間雨量が264mmに達する戦後最大の豪雨
- 床上床下あわせて約2万戸の浸水

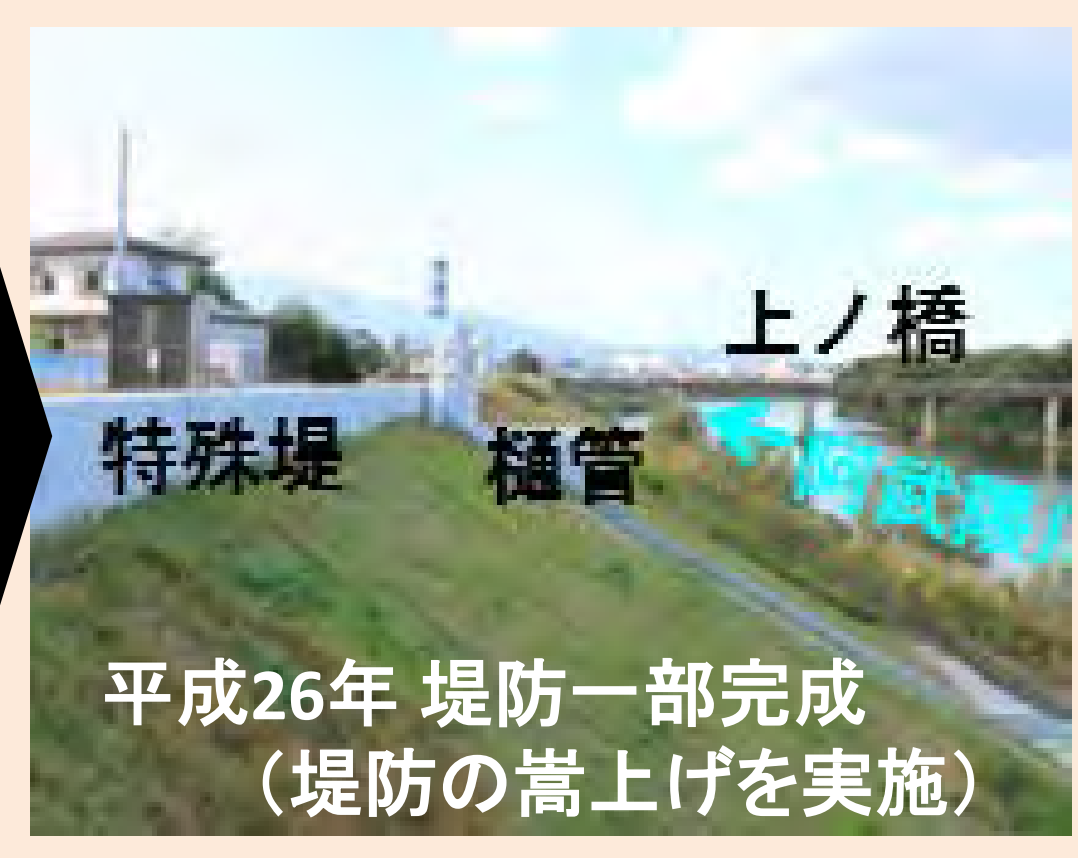


S61.8 本宮市でも大規模な浸水被害
【水面に浮かぶ建物（当時本宮町）】

本宮市の治水対策について



その後、平成14年にも洪水が発生
（堤防天端まで水位上昇）



上ノ橋
特殊堤 樋管
平成26年 堤防一部完成
（堤防の嵩上げを実施）